



講演会開催 定時総会

入場
無料
【要申込】

令和7年(2025)

9月4日(木)

開会13:00(開場12:00)

PROGRAM

13:00 講演

「トキ(時)とアイダ(間)の民俗学」

14:00 トークセッション

「おめでとう暦」

■司会

暦文協常務理事、(公財)山階鳥類研究所シニアフェロー
関西学院大学名誉教授

奥野 卓司 氏

■パネリスト

関西学院大学 社会学部長

島村 恭則 氏

暦文協理事長、国立民族学博物館名誉教授
吹田市立博物館特別館長

中牧 弘允 氏

一般財団法人 東洋運勢学会会長

三須 啓仙 氏

14:30 広 報

15:00 星命名の説明

吉田 二美 氏

千葉工業大学惑星探査研究センター・客員上席研究員、産業医科大学・准教授、IOTA/EA
共同代表、世界天文年「アジアの星プロジェクト」協力者。理学博士。福岡教育大学大学院
修士課程修了、神戸大学大学院博士課程修了。専門は太陽系小天体の観測的研究。すば
る望遠鏡を使った太陽系小天体サーベイ観測や東アジアでの掩蔽観測普及に努める。

15:30 総 会 第15回定時総会(議決は会員に限る)

「岡田星」命名記念祝賀会 16:00～

「レストラン アブルポア」にて

【要申込(会費制)】別チラシ参照

農学部内 弥生講堂から徒歩約7分

トキとアイダの民俗学

講演

暦と切り離すことのできない「時間」。「トキ(時)」と「アイダ(間)」という民俗学的な視点で見ると、非日常と日常を区別した「ハレ(晴れ)」と「ケ(曇)」に重なります。心身を整え、活力ある日々を再開するために繰り返されてきた日本人の伝統的世界観とは、一体どのようなものなのでしょう。



講演・講師紹介

関西学院大学
社会学部長

島村 恭則 氏
Shimamura Takanori

関西学院大学社会学部長・教授、世界民俗学研究センター長、文学博士。1967年東京都生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得退学。専門は、現代民俗学、民俗学理論。韓国、中国、日本各地などでフィールドワークを行っている。著書に『これからの時代を生き抜くための民俗学入門』(辰巳書房)、『みんなの民俗学』(平凡社新書)、『民俗学を生きる』(晃洋書房)、『生きる方法』の民俗誌』(関西学院大学出版会)、『日本より怖い韓国の怪談』(河出書房新社)、『文化人類学と現代民俗学』(共著、風響社)などがある。

会場

東京大学 弥生講堂 一条ホール
(東京都文京区弥生1-1-1)



【地下鉄】

東京メトロ 南北線
「東大前」駅下車 徒歩1分
東京メトロ 千代田線
「根津」駅下車 徒歩8分

要申込

講演会入場無料

講演会はどなたさまでも入場可能です。事務局までメール(info@rekibunkyo.or.jp)または電話(03-5816-5066)で申し込みください。先着順(150名)

同時リモート配信

当日は、インターネットを用い同時配信を行います。暦文協事務局HP
リモート聴講は後日、接続情報をお知らせします。 <https://www.rekibunkyo.or.jp>

「12月3日はカレンダーの日」

2025年12月3日(水)明治神宮にて
『新暦奉告参拝』を開催いたします。
詳細は事務局までお問合わせください。